

国の新施策

今年4月から、国の新たな施策が施行されます。

(情報ソースは週刊ダイヤモンド3月17日号の記事)

◆遺伝子検査

遺伝子検査結果をもってがん治療を行うべきことはすでに約20年前から唱えられてきたことだが、やっとその検査に先進医療の認定がされる見込み。しかし検査は基本的に自由診療です。

検査項目の多いものはオンコプライムなど(60万~100万円超)高額です。専門クリニックでおこなっている遺伝子検査には約20万円と比較的リーズナブルなもの(ただし検査項目は約100)もある。

今年夏以降、「NCC オンコパネル」が先進医療に指定される予定。

4月1日にゲノム医療中核拠点病院(ゲノム中核)に11病院が指定される。
ゲノム医療の進化に期待したい。

◆ロボット手術に健康保険が拡大適用される。

ロボット手術についてはこれまでも前立腺がんなど一部のがん種で健康保険が利いたが、4月からはつぎのがん種の手術でも利くことになる。

胃がん、食道がん、直腸がん、肺がん、縦隔腫瘍、膀胱がん、子宮体がんなど
(全摘除、部分切除などがん種によって詳細な対象条件は異なる)。

ただし、ロボット手術には教育体制がまだ整っていない病院が多いという欠点がある。設備があるからといって飛びつくべきではない。症例数の確認が必要。

情報ソースにはロボット支援手術実績リストが病院毎、部位毎に挙がっています。

例えば、東京都、順天堂大学順天堂医院、導入時期 2013年7月、総数305、前立腺がん192など。

◆放射線

粒子線治療の保険適用が拡大する。

骨軟骨部腫瘍 陽子線

前立腺がん 陽子線、重粒子線

頭頸部がん 陽子線。重粒子線

情報ソースには、粒子線治療の実績ランキングが病院毎、部位毎にあります。
例えば、放射線医学総合研究所病院(千葉)、総数626、前立腺がん 220 など。

◆免疫治療他
特になし。

以上